



発表項目 (行事名)	第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会の開催に向けた「ゴミ拾い通勤運動」の実施について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>北海道では、令和5年9月17日(日)に釧路総合振興局管内、厚岸町において標記大会の開催が予定されています。(7/22(金)発表済)</p> <p>大会開催の機運醸成に向け、「豊かな海づくり活動」の大切さを幅広く道民の皆様理解して頂くため、海洋プラスチックゴミ問題の周知・啓発活動の一環として、職員による「ゴミ拾い通勤運動」を実施します。</p> <p>なお、この活動は、北海道とJT北海道支社の協働事業として、北海道職員と同社社員が運動に参加します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 道水産林務部職員とJT北海道支社職員が、「ゴミを拾いながら通勤」する運動を実施 活動を通じて海洋ゴミの抑制に対するメッセージの発信や海洋ゴミの源泉と言われる街のゴミ問題に対する意識啓発を図るもの <p>2 活動期間</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年10月24日(月)から11月11日(金)の3週間 <p>3 運動に参加する職員(予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道水産林務部職員 約150名 JT北海道支社職員等 約100名 		
参考	<p>「全国豊かな海づくり大会」は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、わが国漁業の振興と発展を図ることを目的として、都道府県ごとに昭和56年に第1回大会が大分県で開催されて以来、継続して各地で開催されています。</p>		
報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付 同時レター	(場所) 道政記者クラブ、水産記者クラブ	
担当 (連絡先)	<p>第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会事務局 (水産林務部水産局全国豊かな海づくり大会推進室)(担当者:大島、山本) TEL ダイヤルイン 011-206-6498 (内線28-834)</p>		

守りぬく 光輝く 豊かな海

第42回 全国豊かな海づくり大会

北海道大会

厚岸大橋

※(地産)北海道立総合研究機構提供(サケ、マツガワ、ホツカイエビ)



令和5年9月16日(土)・17日(日)開催

式典行事

厚岸町(厚岸漁港)

海上歓迎・放流行事

厚岸町(厚岸漁港)

関連行事

厚岸町ほか釧路管内で開催予定

主催: 豊かな海づくり大会推進委員会 / 第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会
後援: 農林水産省 / 環境省

海づくり大会 北海道 検索

全国豊かな海づくり大会について

「全国豊かな海づくり大会」は、水産資源の保護・管理と海や湖沼・河川の環境保全の大切さを広く国民に訴えるとともに、つくり育てる漁業の推進を通じて、明日のわが国漁業の振興と発展を図ることを目的として、昭和56年に第1回大会が大分県で開催されて以来、継続して各地で開催されています。北海道では、昭和60年の第5回大会(湧別町登栄床漁港)以来、2回目の開催となります。

北海道大会の基本理念

豊かな海の恵みに感謝し、この大切な財産を次の世代につなげるとともに、栽培漁業や地域資源の利活用など多様な取組を「オール北海道」で推し進め、水産業の持続的な発展と地域の活性化を図ります。

主要行事の内容(予定)

【式典行事】

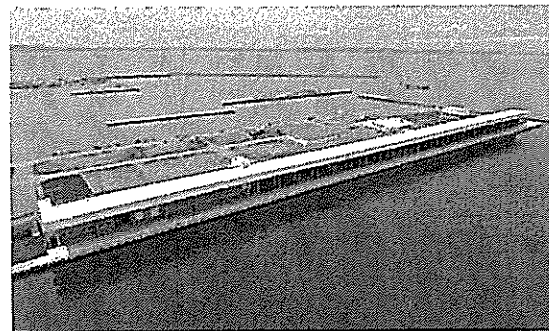
- ・功績団体表彰
- ・作品コンクール最優秀作文の発表
- ・漁業者メッセージ
- ・大会決議
- ・大会旗引継 など

【海上歓迎・放流行事】

- ・歓迎演奏
- ・漁船等による海上パレード・漁法紹介
- ・稚魚放流(マツカワ、ホッカイエビ) など



厚岸町市街地



厚岸漁港屋根付き岸壁特設会場

大会に向けた機運の醸成

【1年前イベント等の開催】

- ・「第42回全国豊かな海づくり大会北海道大会」
1年前イベント
開催日：令和4年10月2日(日)
場 所：厚岸町
- ・豊かな海づくりフェスタ2022
開催日：令和4年10月上旬
場 所：厚岸町

【水産資源の保護と教育】

- ・大会記念リレー放流
時期：4月～10月頃 ※大会開催年まで
場所：道内全域
※漁協・市町村の協力のもと、園児・児童等による稚魚の放流を実施します。
- ・魚食・食育普及活動
時期：通年 ※大会開催年まで
場所：道内全域
※子ども達に魚を身近に感じ興味を持ってもらうため、「見る・触れる・食べる」機会を提供し、水産資源の保護や家庭での魚食普及を図ります。

【海洋環境保全活動】

- ・海浜清掃(市町村・漁業団体・企業等と連携)
- ・海洋プラスチックゴミ問題の周知・啓発
時期：通年 ※大会開催年まで
場所：道内全域



本事業は、SDGs(持続可能な開発目標)のうち、ゴール14の達成に関連するものです。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

【お問い合わせ】

第42回全国豊かな海づくり大会北海道実行委員会事務局(北海道水産林務部水産局全国豊かな海づくり大会推進室内)

〒060-8588 北海道札幌市中央区北3条西6丁目 TEL:011-206-6583 / FAX:011-232-1140



SDGsの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

JT北海道支社

地域社会への貢献

JTグループは、責任ある地域コミュニティの一員として、自然・社会・人間の多様性に価値を認め、幅広いステークホルダーとともに社会課題の解決に向けて取り組んでいます。

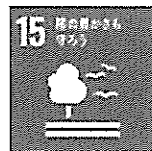
JTグループは、包摂的かつ持続可能な地域社会の発展のため、以下三つの領域を、コミュニティインベストメントの重点領域として位置づけます。



格差是正



災害分野



環境保全



マルチステークホルダー・
パートナーシップ推進

JTの取組 ～取り組みのテーマ「Rethink」～

国内で取り組む社会貢献活動は「Rethink PROJECT」として、地域社会とのパートナーシップを基盤に、各施策を有機的に繋げることで更なる発展を目指しています。

「Rethink PROJECT」は「Rethink－視点を変えて考える－」をキーワードに、「地域社会」と「パートナーシップ」を趣旨に含む施策と、地域の特性にあわせた様々な地元密着施策により構成しています。

Rethink PROJECT

Rethink
－視点を変えて考える－

ひとの
とこを、
想う。 JT

「環境保全」への取り組み



Rethink PROJECT ひろえば街が好きになる運動

「ひろえ」という体験を通じて「すてない」気持ちを育てたいという願いのもと、2004年から全国各地で、自治体、学校、ボランティア、各催事の実行委員会や協働団体など、さまざまな方々と市民参加型の清掃活動を実施しています。



参加してくれた人数	集めたゴミの量	実施回数	参加団体数
1,901,218人	949.3t	2,050回	4,064団体

*実施団体すべて2020年会員団体

【北海道支社の取り組み】

北海道では2004年以降、計29回実施しています。数々のイベントに参加させていただき、地域の皆様と住みよいまちづくりを目指して活動しています。
※「ライラックまつり」「大通り公園クリーンキャンペーン」等々
直近では、リコージャパンさまをはじめとした企業のみなさまと創成川周辺ゴミ拾いを実施しました。



【今後の取組】

これからも、地域の皆様と共に清掃活動を通じて、「すてない」気持ちを育てていきたいと思っています。

ひとの
とこを、
想う。 JT